

## 2017 年度後期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目についてアンケートが実施され、延べ 147 名の学部生のみなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業評価アンケートは、実施対象科目数 9 科目（実施必須科目数 3、実施任意科目数 6）のすべての科目で実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の回答平均値は、5 段階評価で 4.75（昨年度 4.81）であり、昨年度と同様のポイントを維持しただけでなく、大学全体の回答平均値 4.38 よりも上回った結果となりました。この「総合的にこの授業を評価できる」とのあいだで強い正の関係がみられたのが、「この授業のこの分野の関心と学力が得られた」（相関係数：0.79）でした。

この結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くで、受講者の興味・関心を刺激する双方向的な授業が展開されていることをあらわしていると捉えることができると考えます。講義の仕方についても、先生方には、受講生の思考力や実践力の伸長を意識した役割を十分に発揮して頂いた結果であると考えます。

その一方で、「予習または復習をよくした」の回答平均値は、大学全体の回答平均値（3.59）とほぼ同様の 3 点台（平均回答値：3.64）の評価でした。他の項目のすべてが 4 点台後半の値であったことと比べると低い値を示しています。しかしながら昨年度後期の回答結果（平均回答値 3.40）と比べてみると、若干の改善をみてとることができます。

今回のアンケート結果でみられた「優れている」と評価されている点については今後も伸ばし、「気になる」箇所については改善を進め、教育の質的向上に努めていきたいと思ひます。